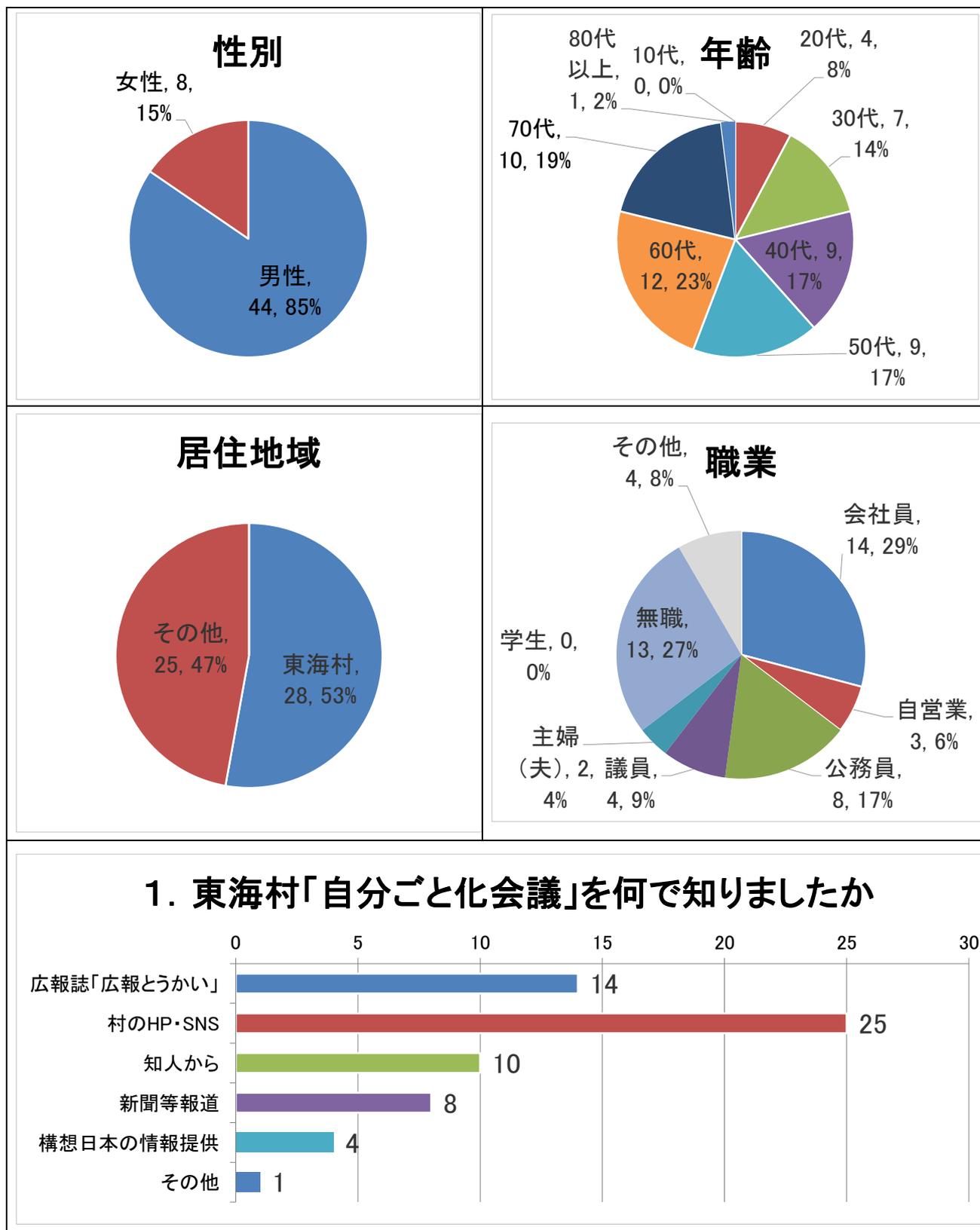
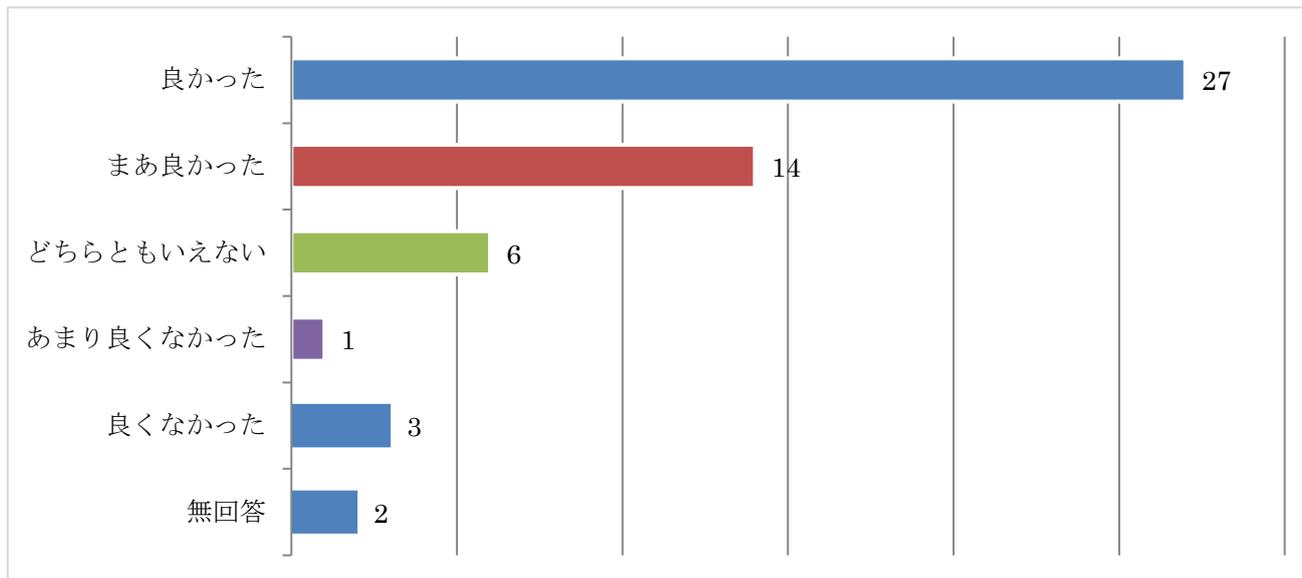


第1回 東海村「自分ごと化会議」アンケートまとめ（傍聴者）

回答数：53件



2. 村民同士が話し合う東海村「自分ごと化会議」について、どう思われましたか。



《「良かった」「まあ良かった」の選択の理由》

- 住民が原発を自分のこととして考える機会になった。
- 村民の意見が本音で言えること。
- 他の方の意見や考えが良くわかること。
- 第1回目の内容（特に松江とのオンライン）は良かった。
- 伊藤氏の進め方はよく、参考にもなる。
- 谷口先生の話は理解するのが大変であった（一部理解できない）。次回以降は、もっと参加者の意見が聞きたい。
- 参加者皆さん様々な方たちが集まっていることで、幅の広い話し合いになることが期待されることから、これからの会議が楽しみに感じる。
- 議論の進め方が勉強になった。こういう形で他の政策も議論していく素地を国内により浸透したら面白いと思った。
- 第2回以降、自分たちの暮らしや地域のあり方を通して、各自の意見や思いの発言が活発に出ることを期待しています。
- 谷口先生の事前知識入力は今後の議論にどう影響するのか興味深い。人それぞれの感性での想像力を十分に生かした議論に期待する。
- 「私たちはどのような世界に生きたいのか」普段生活でも考えたい。
- 対話形式で全員の話聞く取り組みの会議で非常に良かった
- 谷口先生の話は有意義でした。原子力の村のあり方をしっかり議論すべきと思った。

- いろいろな人の話が聞けて良かった。
- 無作為抽出の市民の方々で意見がかたよった人がいなかったため。
- 社会の中での原子力発電が必要なのか、変えていくのか等の意見が出されたことが良かった。
- 初回故止むを得ないが、諸事前説明は討論者に必須のものでしょうから事前にやってほしかった（講演会ではないので）。
- きたんなく話せるムードを作られたのに感心。
- 松江の会議はとても有意義だった。
- 東海村はやはり原発関係への配慮を感じた。
- 村民にとって原発が大変身近であることが実感できた。また傍聴したい。
- 賛否を決めるものではなく、リスクはつながっており問題は複雑だと認識することで、東海村で再稼働、廃炉を決める時に納得感が高まると思う。
- それぞれの方が率直に話されていると感じました。
- 谷口先生の話が難しいと思う一方、適格と感じた。
- 原子力に関心・興味のある人、無い人、様々な人の意見を聞くことができたため。
- 今後の活発な議論が進展することを期待します。
- 賛成、反対の対立のない意見を出せる場を感じた。若い世代をこのような会議の内容を知るべき、知らせる努力をお願いしたい。
- 話し合うことへの期待値としてはものすごく高く見積もっているが、第1回は、説明会という形で、仕方ないかなと…。話し合いは次回ということで楽しみにしています。
- 自由かつ中立的な雰囲気のもとで運営できており、大変良いと感じました。今後の意見の吸い上げや議論の深まりを期待しています。
- 普通の人々のいろいろな意見が聞けたから。
- 多様な意見が聞くことができた。今後に期待したい。
- 率直な意見が聞けた。伊藤氏のコーディネーターが良かった。
- 初回ながら率直な意見が出ていたから。
- 若い人がまじめに原子力について考えようとしているのは、非常に良いと思いました。周辺自治体の方の意見を聞きたいという意見は良いですね。
- 大変参考になりました。お疲れさまでした。
- 2回目からの会議が楽しみ、傍聴した。
- 賛成、反対という意見でなく、広く一般的な意見を聞くことができたから。
- 参加者の多くが原子力に関する基礎知識を持っている様子で、今後の展開がとても期待できました。
- 実施できたこと自体は評価できる。1. 時間が長い。2 時間以内にしたい。一般人は耐えられ

ない。2. メンバーに対する資料提供に事前に。傍聴者は当日可。3. 教授の話は一般人には難しかった。

《「どちらともいえない」の選択の理由》

- 原電の説明。対策工事スケジュールについても折衝者への説明、対策が必要。
- このような普段自分の意見を言えないような人が議論できる。そういった話を聞ける機会はよいと思う。ただ第1回なので現時点では何とも言えない。
- 原発のことを考えたことがないという人もいて、必要という人もいて、危険な放射能の議論もちゃんとしてほしい。
- 選ばれた人に原子力関係者が多いので流れが恐ろしい。
- 第2回以降を見ないとわからないと感じた。
- 奥さんが当選した権利が夫がとって参加するのは×ではないですか？
- 原発関係者比率は、村内の比率と近いのか疑問。1000人の選出はランダムでも、手を挙げたのは偏っているのでは？

《「あまり良くなかった」「良くなかった」の選択の理由》

- 今回は、初回ということもあり「賛成か、反対か」という主張に流れかけていたかと思うので、次回以降「自分たちにできること」を身近なところから考えていただきたい。
- 基調講演と司会者は村民を「結局、どっちがいいかわからない」という意識状態に誘導しようとしているように感じた。
- 谷口先生の話はよかった。しかし参加者はほとんどが内容を理解していない。原発の課題の整理が今後の進め方で問われる。村長は今日の参加者の意見を聞いて喜んでいるのではないか。村の将来に不安を感じた。(参加者のバイアスがひどい)
- 無作為といえど偏りすぎ心配していた関係者の参加が多い。コーディネーターよくない。
- 村は1回目のこと状況をどう見ているのか知りたい。

《無回答の意見》

- 次第3, 4は事前に各自、HPで見たうえで当日は5以降が良かったのではないか。時間が長すぎて、本題は聞けなかった。
- 途中からなので子どもがいると3時間半は難しい。子供の託児など参加しやすい状況を作してほしい。

3. その他、東海村「自分ごと化会議」についてのご意見、ご感想などがありましたらご記入ください。

- 原子力発電所の新規基準の説明もむずかしく一般の人に説明にもよくわからない。この点改善が必要。折衝者のへ説明だ。谷口さんの資料も専門的に過ぎる。これでは正しい意見ができない。もっとやさしい説明が必要。守る力の直面している問題も専門的見地からとられている。
- この会議は成果をどのようにとらえるか。このような考え方など列記したままで、東海村として何を決めるのか？
- 話が聞き取りづらかった（後方では）。
- 地元の傍聴者は高齢者が多い。若めの人には外から来た人？
- アンケートは興味深い。
- 住民が自分の意見を言える機会ができた。
- 村民が主催でないので、あくまでも村役場は単なる事務局に徹して欲しい。村民の本音の意見討論の場を終始維持していただきたい。
- 個人が思っている不安や疑問に答えてもらいたい。
- 正確な情報を。
- 本村の課題を自分のこととして考える住民が増える。
- エネルギーミックスについて話し合う必要あり。
- 会議が長いと感じる。
- 皆さんの考えなどを聞くことができ大変参考になりました。参加できて本当に良かったと思います。
- HPに今回決められたメリットや廃炉について情報を載せてほしい。次回は傍聴できないのでYouTube Liveでもできればみます。
- 谷口先生の議論の「リスク」の話は難しい。理解しにくい。参考人の方々に、左記の方の話はわかりやすいのでは。リスクコミュニケーション：越智小枝先生。エネルギー政策と原子力の位置づけ：竹内紀子先生。
- 今後も興味をもって傍聴したい。
- 自己紹介を聞いて、年齢構成が良くわからないが、高齢者女性が少ないように感じた。果たして公募でこの方には参加されるだろうか。
- 論理的に口うるさい方々がいる。選ばれた達成感?? 今後の楽しみだ。
- 原発と村の関係に無知な方もいる。事実のレベル合わせが必要。
- 26名の参加者が合意できる結論的なものができるか楽しみです。
- やることはよいが、役場主催という点が気になる。第三者（Ex 構想日本）主催の方が良い（村はサポート）。
- 会議の動画をホームページやSNSでアップすべきだと思います。
- 今後の議論が楽しみです。インターネット配信をお願いします（コロナ対策等）。

- 説明・資料にカタカナ（英語の日本語訳）多い！日本語でやってほしい。例えば「リスク」とは何のこと？
- 当事者同士だけでなく、第三者（構想日本）が入ることで話し合いの内容も分かりやすくなり、冷静に話し合いができて良い。
- 廃炉について話があまりなされていないというのは自分も感じる。
- 安全やリスクについての講演を聞いて、原子力がなくなること副次的に生じるデメリット、リスクもあり、原子力そのものの安全のリスクだけを議論するのもあまり適切でないのかもと思った。
- 次も傍聴したいと感じました。
- 東海村 HP に議事録を公開とのことですが、配布資料も公開するとよいと思う。
- エネルギーの話や規制委員会の話があるが、元ネタになる資料も準備したほうが、議論がしやすいと思う。
- 会議をより有意義なものにするため、福島現状を知ってほしい。10年経過しようとしている今を理解しようとするの一助になるのではないかな。
- 再稼働の強力な方向付けは絶対あってはならない。ネット配信はすべき。
- 第1回ということもあるが、前段の説明が長い。住民の参加者の話す機会がほとんどなくて、イメージが違った。資料は参加者に配布して内容を勉強してもらおう等、ある程度、持ち帰って考える、発言内容をまとめるなどレポート化させていかないと、4回のゴールがどうなるのか不明。行政主催で少し固い雰囲気になってしまっているのだから、次回以降は工夫してほしい。
- 「原発」と「原子力企業」を分けて議論していない。「原発」に集中してほしい。
- 東海村の「自分ごと化会議」は原発問題についてしかやらないのですか。東海村の未来、ヴィジョンの中で子育てや生活をどうしたいのか、どういう村であってほしいのか、その中で原発を考えるというのは大切なことで、原発の是非だけを話すのは、無意味だと思います。という考え方に賛成です。
- 原発以外の話題でも開催してほしい。どんな村にしていきたいかなど。
- このような手の込んだやり方ではなく、本来は県民投票を実施すればよいこと。
- 20数人の意見、意識の集約では村民全体の意見を聞くことにはならない。
- プラントの安全性について、東海村民である服部成雄氏を招いて話を聞くべし。
- 動画公開すべし。
- 傍聴に関する制限が多すぎる。官製の会議という感じで、自由な発言の場が閉ざされている。
- Web 中継があるとよいです。
- 東海村の問題を考える意味でよい試みです。しかし、5市1村の県内43市町村の意見を十分に聞いて（県民投票で）決める必要がるのでは。
- 福島の被害者の話を聞く機会を作ってほしい。
- デメリットをきちんと示して、参加者に理解させてほしい。
- この方々のメンバーでの意見交換で再稼働是非の判断は難しい。
- 参加の方、経済性に関する正しい理解も持っていない。

- 原発問題をきれいごとを考えるリードがあると見える。
- 26名の会議を5回行う中で村民全体が原発について関心を持ってもらうような波及につながれば良いと思う。
- 恐いという意見はありつつも明確に反対意見はなかった。概ね賛成が多かったのが意外だった。
- 賛成、反対関係ない意見が聞けたので面白かった。
- 谷口さんの話が良く聞こえなかった。資料の内容も大変難しく理解できない。自分の頭が良くなかったと考え、落ち込んでいる。視野、視点、視座を変えてもわからない。
- 夫人が当選した人は旦那でも出席資格があるのですか？次回要回答。
- 東二の出力は110万KWですので、茨城県の総発電量の役10分の1です。
- 原子力発電所の安全性に関して、新規制基準についての情報提供をしていますが、これは技術的安全性に対するものです。（谷口先生の講演も同じ）原発の安全性とは、技術的安全性のみならず「人的・組織的・制度的・文化的」安全性も含まれますが、その視点が欠落しており、参加者に狭い視野に誘導（結果的ですが）してしまいます。日本原発は敦賀2号機の審査でデータ書き換えを行った組織で「組織的安全性」に関する情報提供も必要です。「人的・組織的・制度的・文化的」安全性：2011年10月に日本記者クラブで行われた田坂広氏（原発事故対応内閣官房参与）の講演動画の22分過ぎより